

市議会だより



3月定例会

令和7年（'25）年5月1日発行



道の駅へに花の郷おけがわ
3月27日（木）オープンの賑わい

主な内容

- ◎新年度予算審議
審議された議案の内容
2～3 ページ
- ◎審議された議案の内容
4 ページ
- ◎審議された議案の結果
5 ページ
- ◎一般質問（18人）
6～14 ページ
- ◎委員会の委員長報告
15 ページ
- ◎6月定例会のお知らせ
編集後記ほか
16 ページ

◆ 3 月 定 例 会 日 程 ◆

- 2月19日 開会、市長の行政報告、委員会の委員長報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託
- 20日 市長提出議案の質疑・討論及び表決
- 26日 総務常任委員会
- 27日 民生経済常任委員会
- 28日 建設文教常任委員会
- 3月3日 一般会計歳入予算質疑
- 4～7日、10日 常任委員会（一般会計歳出の所管事務調査）
- 11日 一般質問（渡邊光子・山中・細谷・岩崎・岡安）
- 12日 一般質問（糸井、砂川、浦田、渡邊広美、仲又）
市長追加提出議案の上程及び説明
- 13日 一般質問（須山、北村、近本、渡辺まや、榊）
- 17日 一般質問（江森、にいつま、岡野）
- 18日 特別会計（国保・介護・後期高齢）・事業会計（下水）歳入歳出予算質疑
- 21日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、委員会所管事務調査の委員長報告、当初予算一般会計歳出の総括質疑
- 25日 市長提出議案（当初予算）の討論及び表決、市長追加提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程・説明及び表決、議員（委員会）提出議案の上程・説明・質疑・討論及び表決、閉会

令和7年度当初予算審議

令和7年度当初予算を可決しました

令和7年3月定例会は、2月19日から3月25日まで35日間開催されました。
令和7年度の各会計予算をはじめ、市長提出議案38件、議員提出議案1件の提案があり、審議されました。

会計名		7年度予算額	前年比較	前年比較
一般会計		290億9,600万円	8億2,000万円増	2.9%
特別会計	国民健康保険	71億 500万円	700万円減	△0.1%
	介護保険	71億1,400万円	2億6,200万円増	3.8%
	後期高齢者医療	14億1,500万円	1,700万円増	1.2%
下水道事業会計		18億8,388万5千円	2億2,864万6千円増	13.8%

当初予算は、各常任委員会ですべての所管事務について審査をしました。主な質疑については、次のとおりです。

総務常任委員会

《市政施行55周年 記念事業》

55周年記念事業 691万円

問

市勢要覧等作成委託の内訳と概要について伺う。

答

市勢要覧の作成委託と記念誌の漫画の作成委託の2種類があります。

市勢要覧については、55周年を記念し発行するものです。主な仕様は、A4サイズの全カラーページ、20ページ程度のものを予定しています。

記念誌の漫画は、桶川市の歴史や歩みなどを振り返るもので、電子データでの提供を考えています。どなたでも閲覧が可能となるように、ホームページでも掲載をする予定です。

《自転車駐車場 改修事業》

改修事業 1億1,390万円

問

工事内容、工事中の利用について伺う。

答

西口第一自転車駐車場の老朽化に伴い、6年度に設計を行い、7年度に2段ラックの入替えや塗装、看板交換などの改修工事を予定しています。

工事期間は令和7年7月から令和8年2月までの約8か月間です。工区

を2つに分けて施工中も利用できる体制で進めます。

《防災対策パッケージ》

975万円

問

防災用備品の増額について、詳細を伺う。

答

ポータブル蓄電池の購入を予定しています。予算としては、500万を計上しています。全21か所の指定避難所に1台ずつポータブル蓄電池を設置し、各避難所における通信手段や夜間光源の確保など、避難所環境の充実を図ることを想定しています。

《桶川飛行学校平和祈念館開館5周年事業》

358万1,000円

問

開館5周年を記念した企画や関連予算について伺う。

答

戦争体験者の証言映像や映像資料の作成に220万円を計上し、5周年記念のポスター制作や記念誌作成も予定しています。

また、知覧特攻平和会

館と連携し、語り部の招聘や企画展示に32万8,720円を計上しています。

《民生経済常任委員会》

その他、外部より講師を招き記念講演を予定し、いずれも川田谷公民館視聴覚ホールを会場と考えているため、当館と会場間のバス輸送を計画しています。

《全国健康福祉祭埼玉大会開催準備事業補助金》

110万円

問

令和8年11月の大会開催に向けての準備とのことだが、補助金の支出先と支出金額の見込みを伺う。

答

仮称ですが、桶川市ねりんピック実行委員会が支出先となります。来年度の支出の予算額は、220万を見込んでいます。

問

大会開催時の経済効果最大化のために、商工会や市内事業者等と話し合っていることを伺う。

答

現時点では、具

体的な方向性について、話し合っていることはありません。

《妊産婦移動支援事業》

90万円

問

妊産婦のタクシーを利用した産婦人科への通院や外出時の移動支援を行うとのことだが、回数制限、使用条件を伺う。

答

タクシーの利用期間は、妊娠届出時から産後30日後までです。上限額は、妊娠期間1人当たり1万5,000円で、利用回数の制限はありません。

《若者がん患者在宅ターミナルケア支援事業》

95万9,000円

問

若年者の終末期がん患者の在宅療養に係る費用の一部を助成することだが、対象者数と周知について伺う。

答

予算は1人分です。周知は、市のホームページと、県の補助事業でもあるので、県ホームページで行っています。

当初予算審議

討論【令和7年度一般会計当初予算】

令和7年度一般会計当初予算は、本会議での歳入、総務・民生経済・建設文教常任委員会での歳出の所管事務調査による審議を行い、各常任委員長による本会議での委員長報告後、市執行部に対し本会議において総括質疑を行いました。



3月議会最終日に2名の議員から、この予算に対しそれぞれ反対・賛成の立場から討論がありました。それぞれの討論の概要については、次のとおりです。

反対

物価高に、医療費や生活費を切り詰めている年金生活者、教育費の工面に四苦八苦している子育て世代など、取り残されている市民がいる。その一方で、4つのない（無駄遣いの廃止、経済対策、遵法精神、市民参画）予算。債務負担行為を含めた借金は25年度末で291億、市民1人39万を超える負担にふさわしくない予算だ。

賛成

過去最大となる予算額は、物価上昇や社会保障費増加という厳しい課題に対応しつつ、市民の生活の充実に向けて、子育て支援や防災、デジタル化推進など未来志向の政策を盛り込んだ予算案となっている。また、市民の安心・安全な生活基盤を確立し、持続可能なまちづくりに向けて大きな前進となる施策が含まれていることから賛同する。

《川島桶川資源循環組合》

問 負担金 1億1,780万4,000円
負担金の内容を伺う。

答 令和7年4月1日に新たに設立される一部事務組合の事業費に対する負担金で、負担割合は川島桶川資源循環組合の規約に基づき、均等割20%、人口割80%です。

本市と川島町の人口比は、おおむね8対2となる。

建設文教常任委員会

《南小跡地等施設計画 策定委託》 500万円

問 委託のスケジュールと契約方法、プレゼンテーションを公開できるか伺う。

答 南小跡地等施設

計画策定委託のスケジュールについては、実施方針公表から契約まで約2か月を見込んでいます。

委託業者の選定は、プロポーザル方式により進める予定です。プレゼンテーションの公開については、現在検討中です。

《体育館空調設備整備

事業》 4億9,800万円

問 中学校の体育館空調設備等整備工事の概要を伺う。

答 市内中学校4校に空調設備の設置と、屋根等の断熱改修を実施します。

空調設備は、桶川中学校、桶川東中学校はガス式を採用し、桶川西中学校、加納中学校は電気式を採用しています。

東中学校は、校舎に多目的トイレを設置するとともに、外トイレを改修します。

《ニュースポーツ推進事業》

167万円

問

ニュースポーツ推進事業の詳細と費用内訳について伺う。

答

西中学校のプールを活用することで、市民要望のあるスケートボード場を整備するものです。

トータルで167万円を計上しており、費用内訳で一番大きいのは、人件費に相当する部分で、屋外施設利用者の受付等を委託する費用です。その他には、備品購入費45万円、プールの修繕費と消耗品費を少しずつ計上しています。

《学校給食費第3子以降無償化事業》

998万4,000円

問

第3子は、兄弟の年齢構成がどのような場合でも無償となるか伺う。

また、保護者の所得制限はあるか伺う。

答

第1子から第3子までが義務教育課程に在籍する小中学生

であった場合に、第3子目が対象となります。例えば中2、小5、小2の3人兄弟姉妹であった場合、世帯に義務教育課程が3人いるため、3番目の小2の児童が無償化の対象となります。

問

所得制限はありません。市外に通学する場合でも対象となるか伺う。

また、アレルギーや不登校で給食を利用していない子供に対しては、どうなるのか伺う。

答

市外の私立学校や特別支援学校に通学する場合、またアレルギーや不登校の場合は、多子世帯学校給食費等助成金で給食費相当分を支給します。



議案審議の条例等

条例等

各常任委員会に付託された条例等についての審査で、主な質疑は次のとおりです。

【第14号議案】

桶川市職員の育児休業等に関する条例及び桶川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

職員の仕事と生活の両立支援の拡充のため、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置の拡充や、介護離職防止のための措置を講じるため、所要の改正をするものです。

問

時間外勤務の免除対象となる職員が、3歳未満の子を養育する者から、小学校就学前の子を養育する者に拡大されるが、過去5年の適用実績と対象拡大後の人数見通しを伺う。

答

過去5年間の実績では請求はありませんでした。対象拡大後の見込みとして、現在

の3歳まででは約50人程度が対象ですが、拡大後は約100人程度になると見込んでいます。

問

仕事と介護の両立支援のためのこれまでの取組、改正後の変化を伺う。

答

これまででは、介護に直面した職員への相談対応として、休暇制度や手当金制度の説明、意向確認などを行ってきました。改正後は、40歳に達した職員への制度周知を新たに進める予定です。

【第16号議案】

桶川市手数料条例の一部を改正する条例

建築基準法及び建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律の一部改正に伴い、建築確認申請等の手数料の額等を改定するものです。

問

手数料値上げの根拠と詳細な分類

答

理由、法改正に伴う支援措置について伺う。建築確認申請に係る適合性判定等

の審査内容が増加したため、手数料が増額されました。この手数料については、埼玉県が審査事務にかかる時間等を調査して算出し、その金額に基づいて設定しています。

手数料を従来よりも詳細に分類した理由については、建築基準法とエネルギー消費性能向上に関する法律が改正されたため、その法改正に対応するためです。

支援措置は、各都道府県にサポートセンターが設置され、確認申請等を予定している建築士へのサポート体制が構築されています。国の支援としては住宅ローンの金利の引下げや、税の特例措置があります。

【第17号議案】

桶川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正をするものです。

問

附則第8条に関して、保育士ではなく保育士と同等の資格を有するものが対応するようにした場合に、施設を利用する子どもと保護者にとって利用できるサービスに変更はあるのか伺う。

答

保育士に代わる者として、市長が認める者を配置できるということになっていますが、あくまでもこれまでの保育の質を確保しながら実施することが前提となっていますので、これまでどおり利用できます。

【第21号議案】

桶川市学校事故調査委員会設置条例

学校事故の発生原因の究明、再発防止の取組について調査審議するため、桶川市学校事故調査委員会を設置するものです。

問

委員の人選について、利害関係者の排除、また、公平性と中立性の確保はどのように担保するのか。

答

県弁護士会、桶

川北本伊奈地区の医師会、県教育委員会に推薦を依頼することで、事件との利害関係がなく、委員にふさわしい方を選出します。委員長の選出も委員の互選で決定します。

問

調査対象となる事故の定義と、対象範囲について伺う。

答

学校管理下で発生した事故（負傷、疾病、死亡事故、暴力行為など）が対象です。登下校中や修学旅行中の事故や、精神疾患を負った場合も含まれます。教師による暴力行為については、対象となる事故の定義として明記するかについては、検討します。

問

調査報告書の公開と、再発防止策の学校運営への反映についてどのように考えているか。

答

報告書は被害者や関係者に配慮し、情報公開の方法や範囲を決定します。報告書の内容については、学校や教職員とも共通理解を図る

とともに、研修による啓発や指導等の再発防止策を実施し、学校運営に反映させます。

人事関係

農業委員会委員を同意

（第29号～39号議案）

青木 孝一氏	新井 淳一氏	荒井 昌和氏	荒岡 克巳氏	植野 成美氏	小峯 健治氏	渋谷 安弘氏	白根 菊枝氏	砂川 富夫氏	原島 貞夫氏	渡邊 富二氏
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

臨時議会を開催

令和7年第1回臨時議会が1月24日に開催されました。

物価高騰の影響を踏まえ、住民税非課税世帯に対する給付金、子育て世帯に対する商品券の配布、学校給食の食材料費の支援を内容とする一般会計補正予算を審議し、全会一致で可決しました。

採決結果

第1回臨時会で審議された議案とその結果

◆ 次の議案は全会一致で可決されました。

議案番号	議案名
第1号	令和6年度桶川市一般会計補正予算(第8回)

3月定例会で審議された議案とその結果

◆ 次の議案は全会一致で可決・同意されました。

議案番号	議案名
第2号	令和6年度桶川市一般会計補正予算(第9回)
第3号	令和6年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算(第4回)
第4号	令和6年度桶川市介護保険特別会計補正予算(第3回)
第5号	令和6年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4回)
第6号	令和6年度桶川市公共下水道事業会計補正予算(第3回)
第8号	令和7年度桶川市国民健康保険特別会計予算
第9号	令和7年度桶川市介護保険特別会計予算
第10号	令和7年度桶川市後期高齢者医療特別会計予算
第11号	令和7年度桶川市公共下水道事業会計予算
第12号	桶川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び桶川市税条例の一部を改正する条例
第13号	桶川市監査委員条例及び桶川市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
第14号	桶川市職員の育児休業等に関する条例及び桶川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
第15号	桶川市職員の給与に関する条例及び桶川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例
第16号	桶川市手数料条例の一部を改正する条例
第17号	桶川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

議案番号	議案名
第18号	桶川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第19号	桶川市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例及び桶川市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第20号	桶川市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
第21号	桶川市学校事故調査委員会設置条例
第22号	令和6年度桶川市一般会計補正予算(第10回)
第23号	令和7年度桶川市一般会計補正予算(第1回)
第24号	令和7年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)
第25号	令和7年度桶川市介護保険特別会計補正予算(第1回)
第26号	令和7年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)
第27号	令和7年度桶川市公共下水道事業会計補正予算(第1回)
第28号	桶川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
第29号～第39号	農業委員会委員の任命について
委第1号	桶川市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

◆ 賛否が分かれた議案は次のとおりです。

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決結果	新 政 会					おけがわ未来			立憲、国民、維新の会				公明党			ともに生きる会		無党派	
			渡辺まや	砂川和也	糸井政樹	岡安政彦	江森誠一	榊 萌美	須山陽一朗	山中敏正	岡野千枝子	近本あんな	細谷文人	佐藤 洋	にいつま亮	仲又清美	渡邉広美	岩崎隆志	北村あやこ	浦田 充	渡邉光子
第7号	令和7年度桶川市一般会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	議長	○	○	○	○	×	×	○

※表の見方 賛成：○ 反対：× 欠席：欠 除斥：除 退席：退

除斥…議員は直接の利害関係にある議事には参加できないとする制度のこと。関係事案の審議に際しては退場しなければならない。

退席…議員個人の判断で、採決前に議場の外へ出ること。

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

「積極的な税金の節約・市民サービスへの財源の確保」
執行部職員の議員視察同行の廃止



渡邊 光子

無会派



問

議員視察の目的は、地方を見聞きして、桶川市行政に良いと思うことを桶川市各課執行部職員等へ助言して良い市民サービスにつなげることだ。

議員は1年に1回、1泊2日の時間をかけて、総務常任委員会・民生経済常任委員会・建設文教常任委員会の各常任委員会が地方に視察に行く。

加えて議会運営委員会も議会を運営する要として、地方議会を見聞きして桶川市の議会運営に活かすべく1泊2日の視察に行く。

過去の私の一般質問において、前の岩崎市長は、「必要があれば、議員視察へ同行させます」と言い、議員視察への執行部職員の同行は廃止状

態だった。

そこで何う。市民の要望に「財源がありません」と市民に言う前に、積極的な公費節約に向けて、執行部職員等の議員視察同行の廃止を何う。

答

(総務部長) 前

の岩崎市長の頃、一時同行を見送っていた時期がありました。その後、平成23年の8月30日、議会の議会運営委員会「執行部職員に同行を求める」ことが決定されました。私のほうも、同行をしたとかしたくないとかというわけではなくて、市の職員も一緒に行かしていただけるのであれば、見聞を広めて知識を広げるいい機会にはなると思うっておりますので、もしそういった形の機会であれば、参

問

加するということは大変有意義ではないかと考えているところです。

執行部職員も視察が必要であれば、市長へ申し出て市長側で行くが良い。毎回、議員視察同行は必要がない。

答

(議長) 答えられるかい。

(副市長) 旅行命令簿で旅行権者の私がお答えします。視察に臨むことは意義があり、議員視察同行には意味があります。

持続可能な行財政運営の実現に向けた改革について



山中 敏正

おけがわ未来



問

自主財源比率の推移について何う。

答

市税など市自らの歳入である自主財源が、全体のどの程度なのかを数値化したもので、令和5年度までは50%でしたが、令和6年度と7年度は、46%と下がっています。

問

今後の財政見通しについて、収支バランスを阻害する要因について何う。

答

中長期的に、人口減少や少子高齢化の進展に伴い、市税の減少が考えられます。

問

持続可能な行財政運営に向けた取組について何う。

答

企業誘致を進めるなど、自主財源の確保に取り組みます。地域経済の活性化

問

化につながる施策や地域の課題解決には、民間事業者をはじめ、多様な担い手と互いの強みを活かしながら取り組むことが重要になってくる。民間の力を取り入れた施策の考えを何う。

答

大学や民間事業者などと包括連携協定を締結し、ノウハウや強みを活かした事業を展開してまいります。

森林環境譲与税の活用について

問

危険木伐採事業補助金の県内の活用状況について何う。

答

建築物や道路に對し危険と判断される木の伐採に、森林環境譲与税を活用する補助金を用意している県内の

問

自治体は、秩父市、飯能市、横瀬町、皆野町です。桶川市での活用について何う。

答

活用については、引き続き検討してまいります。

問

桶川市におけるエネルギーの地産地消について何う。

答

本市の地勢や地域資源などを勘案すると、個人住宅や公共施設、事業所などに自家消費型の太陽光発電などが考えられます。

問

公共施設である学校と指定避難所となっている体育館に、防災機能の強化と脱炭素に貢献する自家発電設備として、産業用蓄電池＋太陽光発電の導入について、考えを何う。

答

公共施設の現状を踏まえ、自家発電の導入について研究してまいります。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

人口減少対策と本市の発展について



細谷 文人

立憲、国民、維新の会



問

厚生労働省が発表した人口動態速報によると、全国出生数が9年連続の減少、過去最低を記録した。危機感を持つ自治体の中には、率先して独自の対策に乗り出しているところも多数ある。本市には婚活事業などはあるか。

答

県のSAITAMA MA出合いサポーターセンター「恋たま」の会員として、結婚を希望する独身の男女に出会いの機会を提供しています。成果はあるか。

問

令和7年1月末時点で、合計325名の方が会員登録し、18名の方が成婚退会しております。

問

「二十歳を祝う会」において、交流イベントを開催したら

どうか。

答

ご提案につきましては、実施が可能な協議をします。

桶川飛行学校平和祈念館について

問

本市の復原された飛行学校は、後世に戦争の遺構と歴史を伝える上で非常に貴重な施設だ。当時飛行訓練に使われていた荒川河川敷は、今でも本田航空の滑走路として使われている。もっと多くの人に足を運んでもらえるようにできないものか。バス停の新設、バスの進入路・駐車場の整備はするか。

答

現状バス一台分は確保しています。が、道の駅開業に伴い柔軟性を持たせたいと考え

ます。

問

後世に戦争を伝える歴史施設として、当時の食事が食べられるイベントを主催したらどうか。

答

現状では調理施設がなく、保健所の許可が必要となるため、ハードルが高いです。

ごみ焼却施設の焼却炉について

問

公共施設等管理計画によれば、市有財産のスリム化を計るとある。今般道の駅が新設され市有財産に加わることから、廃炉となっている焼却炉の解体時期を伺う。

答

新たなごみ処理施設が建設されることから、適切な時期に解体を実施します。

問

解体費用について、国の交付金も視野に入れているか。

答

使えるものは、積極的に活用します。

見えない障害と生きる「高次脳機能障害者」への支援、桶川市の現状と課題について



岩崎 隆志

公明党



問

桶川市における高次脳機能障害者への支援体制はどのようなになっているか。

答

市の障害福祉課と障害者相談支援センターが相談支援を行い、専門的な支援のために基幹相談支援センターや県の支援センターと連携しています。相談件数は増加傾向にあります。

問

現在の支援体制における課題や改善点は何か。

答

課題は、本人の意思決定と必要なサービスが結びつきにくい点で、長期的な支援が必要です。

問

人と関わることに難しい人もグループホームで支援できるか。

答

コミュニケーション

問

ヨンに難しさがある人も本人の希望があればグループホームで専門的な支援を受けられます。グループホームには様々なタイプがあり、人数や住居形態も異なるため、事前の見学などを通して、その人に合ったホームを探すことで大きな問題は生じにくいです。

答

「年金だけでは暮らせない」高齢者の悲痛な叫び、桶川市の具体的な支援策を問う

問

生活保護以外の生活困窮者向けの支援制度について伺う。

答

生活困窮者自立支援事業を通じて、相談支援や就労支援を提供しています。

問

高年齢者の医療費助成制度について

答

桶川市独自の高齢者向けの給付金や手当があるか。

問

桶川市独自の高齢者向けの給付金や手当があるか。

答

桶川市高齢者等おむつ助成金支給事業や桶川市要介護老人手当支給事業があります。

問

高齢者向けのよろず相談窓口について伺う。

答

地域包括支援センターがよろず相談窓口として機能しています。

伺う。

答

高齢者のみを対象とした医療費助成制度はありませんが、年齢に応じた負担割合の軽減や高額療養費制度があります。



一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

高齢者社会について 「軽度認知障害」



岡安 政彦

新国会



問

軽度認知障害の兆候と早期発見の重要性について伺う。

答

軽度認知障害や認知症の症状として最初に出やすいのが記憶障害といわれています。体験したことの一部を忘れるだけでなく、体験した行為自体を忘れることです。また季節に合う服装ができなくなるなど、今までとは違った行動をするといったことが軽度認知障害の兆候です。

未知の部分が多い病気だからこそ、症状が軽いうちに発見して対策すれば、健常な状態への回復や認知症への移行を遅らせることができます。早期に発見できることは大変重要と考えています。

問

軽度認知障害と

診断された場合の支援について伺う。

答

相談先としては、高齢介護課や地域包括支援センターがあります。

適切な医療、介護予防事業、介護サービス等の利用につなげるとともに、状態に応じて、どのようなサービスを受ければよいのかを記載した認知症ケアパスという冊子を渡し、本人の症状の改善や家族の負担の軽減を図る支援をしています。

また、なかなか適切な医療、介護予防事業、介護サービス等の利用につながらない場合は、認知症初期集中支援チームを設置しています。

また、認知症の初期段階から専門職による支援も行っています。

問

相談先として、高齢介護課、地域包括支援センターへつなげていくには、地域に密着した民生委員との連携が必要と思うが、どのように考えているか伺う。

答

本市では、医師会、新聞配達事業者、宅配業者、金融機関、区長会、民生委員等の協力により、桶川市高齢者安心見守りネットワークを構築しています。

これらの方々が、心配な高齢者を発見した際には、市や地域包括支援センターに連絡をする認知症高齢者の早期発見の取組を行っていますので、ここで民生委員との連携が図られています。

また、民生委員児童委員協議会の地区定例会に、担当地区の地域包括支援センター職員が年に1回は出向いて、相談先としての周知連携をお願いしています。

桶川市の財政について



糸井 政樹

新国会



問

現在話題となっている103万円の壁だが、政府与党と国民民主党において協議されている控除額を給与所得と合わせて178万円まで持つていった場合、当市の減収はいくらになるのか。

答

178万円まで控除額を引上げた場合、影響が出るのは令和8年度の課税からとなりますが、今年度の市民税課税状況に当てはめますと15億円程度と試算しました。

もし178万円になった場合、この15億円の減収を埋める手だてはどのようなものがあるかと考えるのか。

答

減収分の75%は普通交付税で補填されるものと考えていますが、残りの25%、4億弱の影響については既存

問

の行政サービスに大きな影響を与えるものと考えています。

この手だては税収や基金からの繰入れによる対応は難しいと考えています。

そもそも国の政策による減収であることから、国に減収を補填する制度を創設することを働きかけるなどの要望をしていくことになるかと考えています。

問

国政の状況によつては、今後の桶川市の予算編成や予算執行に難局が予想されるが見解を伺う。

答

国の予算が大きく修正された結果、地方の予算の前提が大きく変更になると、予算そのものを見直す必要が生じるなど、大きな混乱が生じます。

予想されます。

市民生活に影響を与えることがないよう、今後も国の動向を注視していきます。

シニア世代の生きがいと就労について

問

人生100年時代と言われる昨今、人々のキャリアプランは大きく変化している。本市のシルバー人材センターに対して、シルバースタートに見合った魅力ある就労創出の支援をどのように行っているのか。

答

本市では毎年、桶川シルバー人材センターから、予算編成時に、高齢者の就労やボランティア活動を積極的に推進していくという決意表明と、それを実現するための予算確保の要望をいただいています。それを踏まえて、シルバー人材センターに対して、可能な限り要望に応えられる形で就労創出を支援しています。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

飛行学校平和祈念館の持続可能な運営について



砂川 和也

新政会



問

観光まちづくり拠点として位置づけられた理由を伺う。

答

歴史や文化、地域資源となる施設の保全と活用、そして広域交通網をいかした魅力発信、地域振興を図るために設定したものです。

問

運営に関わる人数と人件費、有資格者の状況を伺う。

答

今年度は5名体制で約3,600万円となります。また、職員4名が資格を有しています。

問

曜日別来館者の状況から、週末と休日の開館とし、平日は予約等の開館にすることで、平日に研究や資料整理、企画展やイベント準備等に充てることにより、メリットが得られると考えるが、市の見解を

伺う。

答

当面は現状の体制を続けていくことを考えています。

問

では、祈念館の運営と文化財の業務を分担し、民間活力を導入する運営は有効と考えるが、見解を伺う。

答

維持管理と実施事業を分割し、運営している同様の施設もあることから、先進的事例も調査したいと考えています。

問

平和祈念館の平和の貢献について市長の考えを伺う。

答

平和祈念館は、1万4,000筆を超える保存活動の署名を基に始まりました。平和を尊重する社会を目指し、令和2年8月4日に開館。今年度は戦後80年という大き

な節目に当たります。

気持ちを新たに今後とも

平和の発信に努めます。

減少速度が異なる調整区域に応じた、人口減少社会の対応について

問

地域の特徴に合わせた不明土地や空き家の活用に向けて、計画が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答

令和8年度に空家等対策計画を策定し、まちづくりや住宅政策など様々な観点から空き家の利活用について庁内関係課と協議・検討していきます。

問

児童数減少に伴う安全な通学には、地域特性に合わせた検討を行うことが必要と考えるが、見解を伺う。

答

地域の特徴に合わせた通学の方法は、学校と教育委員会が連携し、スクールバスや公共交通を利用するなどを検討し、子供たちの安全確保に努めていきたいと考えています。

工事現場にもバリアフリーの視点を



浦田 充

ともに生きる会



問

駅西口トイレの工事現場では、敷板部分に段差があり、また、仮設点字ブロックが剥がれかけるなど、障害者の通行に支障をきたしていた。どのようなバリアフリー対策を行ったか。

答

工事車両出入りのために、施工業者が駅前広場の歩道部の端に養生鉄板を敷きました。鉄板と道路との段差解消としてアスファルト舗装ですりつけを行い、鉄板の縁には段差の注意喚起の表示を行いました。点字ブロックが剥がれてしまう箇所は、仮設点字ブロックを設置しました。

問

段差部分は車いすでの通行が非常に困難であった。しっかりととしたスロープ設置を求められなかったのか。

答

今後の工事等に反映させていたただければと考えています。

問

このようなベンチが「排除ベンチ」だ

答

駅西口トイレ前に、「排除ベンチ」を新設した経緯を伺う。

問

足腰の弱い高齢者などが安全に座りやすく、立ち上がりやすい手すりつきベンチを設置しました。排除ベンチという意味合いで設置したものではありません。

答

この位置では、手すりが仕切りとなり、一時的に具合が悪くなった方や、子供を横にすることが難しい。デメリットは考えないのか。パースナルスペース確保、どちら

を向いても利用できるなど、幅広い方が利用できるように考えました。

問

今後、ベンチを設置する際には、子育て世代、高齢者、障害者などの意見を反映して設置できるか。

答

東口工事の際は、そういったところも注意しながら進めていきたいと考えています。

ゴミ置き場にネットボックスの整備を

問

ネットボックス配布ができないか。広げた場合、道路を塞いでしまう

答

こともあり、設置できない場所なども想定されます。ご相談を受けた場合は、研究させていただきます。



上:駅西口トイレ前の新設ベンチ
下:足立区の折畳ネットボックス

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

市民の生命を守る、防災・減災対策について



渡邊 広美

公明党



問 避難所生活での健康管理について伺う。

答 必要に応じ救護所を設置し、医師や保健師が連携をとり、巡回による健康相談など、避難者の心身の健康状態の把握を行います。

問 自主防災組織を通しての井戸水の水質検査について伺う。

答 水質検査は、自主防災組織連絡協議会の事業として、例年実施し、災害時に洗濯等生活用水の確保を目的として、平常時から井戸水の状態を確認するために実施しています。

問 各拠点小学校備蓄一覧に、初動期に必要な簡易ベッド、生理用品、乳幼児ミルクが入っていないことについて伺う。

答 パーティションや段ボールベッドなどを活用し、女性専用の更衣室や授乳室、物干し場などのプライバシー保護に配慮し、性犯罪やトラブル防止を図ります。

問 市役所防災倉庫に集中管理しており、状況に合わせ各避難所に配送します。

答 自主防災組織に備えてほしい備蓄品について伺う。

答 食料や水、ラジオ、救護用の担架や毛布に加え、浸水想定地域では水防用の土のうなど各地域の特性に合った備蓄品を考えています。

問 避難所でのジェンダー視点によるプライバシーを守る対応について伺う。

答 パーティションや段ボールベッドなどを活用し、女性専用の更衣室や授乳室、物干し場などのプライバシー保護に配慮し、性犯罪やトラブル防止を図ります。

問 防災士の育成について伺う。

答 分団長を経験した消防団員に費用を支援し73名が資格取得。地域や市の防災訓練に参加され、地域の防災意識や、防災対応能力の向上に協力されています。

問 市民に寄り添った支援について

答 フードリボンプロジェクトの調査研究結果について伺う。

答 子供たちの今日の1食を支える取組です。プロジェクトに参加された飲食店でお客さまが1つ300円のリボンを購入し、そのリボンで子供たちが食事を受けられます。子ども食堂だけではなく、新たな選択肢として、令和7年2月にプロジェクトを実施しているロングスプーン協会と包括連携協定を締結し、先日、桶川市商工会に概要説明と協力店舗の募集を依頼しました。

指定難病患者への支援について



仲又 清美

公明党



問 国、県の医療費助成の現況を伺う。

答 国は、平成25年障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の対象に難病患者を含む法改正が行われ、平成27年には、難病法の施行により、対象疾病を大幅に拡大し、現行の医療費助成制度が実施されています。埼玉県は、難病法の規定によつて、指定難病の重症度基準に照らし、病状が一定程度以上の場合、指定難病の治療に関わる医療費の自己負担額が2割になり、所得に応じて、月々の負担上限額が設定されています。また、軽傷者特例として、重症度基準が満たされない患者が高額な医療を継続されている場合は、同様の医

問 療費助成が受けられます。県内の市町村独自の医療費助成（見舞金）の現況を伺う。

答 難病認定された際に1回限り見舞金等を助成する市町村と、年額として1万円を継続助成する市町村は、合計18自治体あります。

問 近隣市では、鴻巣市が月額1万円、上尾市、久喜市、蓮田市が年額1万円の助成をしている。本市は、見舞金等助成を行っていないが、指定難病患者は何人いるのか伺う。

答 指定難病患者数は、令和5年度末で589名です。

問 昨今、難病の新薬や治療法等の成果が上がりが希望が見えてきたが、医療費が高額だ。近隣市同様、本市の難病患者へ見舞金等の助成ができないか伺う。

答 近隣市を調査し、具体的金額、手続、支援など研究したいと思っています。

「わが家のエンディングノート」作成について

問 本年は、団塊の世代が後期高齢者になり、75歳以上の3分の1の介護が必要となるようだ。今後、高齢化率が高くなるにつれ相続ができない空き家の問題も深刻だ。相続人を整理する家系図、相続登記の手続、不動産に関する相談窓口等、住まいの終活に必要な情報をまとめた「わが家のエンディングノート」を、作成できないか伺う。

答 空き家の発生抑制や適切な管理につながることを考え、今後研究してまいります。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

朝の校庭で元気いっぱい子供たちの健康づくりについて



須山陽一郎

おけがわ未来



問

各小学校における朝の時間帯の活用状況について。

答

全校朝会や体育朝会、児童集会など学校全体で活用されるほか、学習・読書などのクラスごとの時間として活用されています。

問

体育朝会の内容と頻度について。

答

学校により頻度は異なりますが、年間を通して、例えば整列や行進などの集団行動やマラソン、縄跳びなどに取り組んでいます。

問

また、運動会前には全校で運動会の練習を行うこともあります。

答

他自治体における先進的な取組の研究状況について。
日光浴を掲げて取り組んでいる自

問

治体は把握していませんが、朝の時間帯の校庭開放については、八王子市や三鷹市で取組があることは承知しています。

問

本市において実施するとしても、教職員や保護者、地域ボランティアの負担を増やさない観点から、シルバ

答

人員の確保や登校班編成の見直しが必要になることが想定されます。

また、雨天時に校庭が使用できない場合の実施の判断や連絡体制、児童の事故等への対応や使用する施設の管理を適切に行うための体制づくりなどが重要です。

学校給食のおいしさと安全の向上に向けた取組について

問

検討課題とされた献立数拡充の進捗状況について。

答

本市の献立数については、令和5年度は、牛乳を含み平均で44品の実績となりました。

問

また、今年度は令和6年3月実施のアンケート結果を参考に、献立数拡充の検討を行いました。

答

献立拡充に向けた具体的な課題と対応策について。
献立拡充に向けた具体的な課題と対応策についてですが、主に2つの課題があると考えています。

1つ目は調理の際の作業工程、2つ目は食材費の確保です。これらの課題への対応に加え、学校給食の日など特別な日に合わせた献立の拡充に取り組んでまいりたいと考えています。

仮設鴨川保育所なぜ業者見積りと同額か



北村あやこ

ともに生きる会



問

資料を用意した。左が桶川市の設計額、右が入札で受注した大和リースの見積書だ。諸経費が0.2%違うだけで、全部同額だ。諸経費は、どう出すのか。

答

諸経費は、共通仮設、現場管理、一般管理費で構成されま

問

工事費用に、一定率をかけるのに、1230万のリース料を工事費に計算している。リース料は、建物や備品、固定資産税、保険料、金利を入れたもので、ダブルに

計上している。これを外して計算すると、約200万安くなる。さらに、下でリース経費513万円をダブルに計上しているのを、通常はおかしいと、見破る。さらに土地をただで貸し、

問

内訳では、鉄骨、屋根、建具、厨房、照明器具、トイレは古いものを使っ

答

て、1億5000万だ。再利用もできるのに廃棄費用は2,000万以上だ。精査をして

分かっていない部署がいろいろ突

き進んだのは、反省点です。庁内連携して専門部署の目も通し、改革する部分が多々あると思いますので、改めていきます。

問

病院は南小跡地に駅周辺で、整備すべき施設は何か。

答

市民アンケートと企業ヒアリングの結果、商業や医療、宿泊等の施設を検討します。

問

市長に、病院誘致の考えを伺う。

答

病院は市民の要望が強く、誘致は必要と思います。高度専門・救急・周産期医療の病院などは、制度上別枠で誘致の可能性があり、

県の考えなど、情報収集したいと思います。

市の積算と請負業者見積との比較

費目	設計金額内訳 (桶川市)	大和リース 見積書
リース料	12,305,000	12,305,000
共通仮設工事	4,750,000	4,750,000
建築工事	29,747,000	29,747,000
電気設備工事	11,400,000	11,400,000
給排水工事	23,000,000	23,000,000
厨房設備	6,250,000	6,250,000
厨房設備工事	1,750,000	1,750,000
外構工事	7,500,000	7,500,000
解体工事	22,758,000	22,758,000
小計	119,460,000	119,460,000
諸経費	17,228,728	16,990,000
工事費計	136,688,728	136,450,000
設計費計	5,453,000	5,453,000
公租公課	3,731,000	3,731,000
火災保険料	240,000	240,000
金利	1,160,000	1,160,000
リース経費計	5,131,000	5,131,000
計	147,272,728	147,034,000
消費税	14,727,272	14,703,400
合計	162,000,000	161,737,400

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

＃福祉避難所 ＃性教育 ＃新ごみ処理施設



近本あんな

立憲、国民、維新の会



問

高齢者や障がいのある方、妊婦などを受け入れる福祉避難所は何か所あるか。

答

7か所です。

問

ほぼ確実に福祉避難所を必要とする、要配慮者の人数は、

答

239名です。

問

現在の7か所では到底足りない。

協定先を増やすべきと考える。見解を伺う。

答

民間の福祉施設の協定については、さらに拡充を図りたいと考えています。

問

保育園で絵本を使った性教育をすべきと考えるが見解は。

答

公立保育所では保健師による絵本を使った講座を実施しています。

問

普段から性教育

問

の絵本に触れられるよう、保育所に絵本を設置してもらえないか。

答

各公立保育所に、性教育の絵本を用意していきたいと考えています。

孤独や孤立を防ぐアウ

トリーチ型の支援

問

高齢者安心見守りネットワークの

案内を、協力的事業者配布し、本サービスを拡充すべきと考える。見解は。

答

民に対する啓発を行うため、定期的にチラシを配布していくことを考えています。

問

困難女性支援法相談員の増員について提案した。検討結果を伺う。

答

女性相談支援員を増員したいと考えています。

新ごみ処理施設建設

問

令和7年に川島町と桶川市で、新ごみ処理施設建設についての一部事務組合が立ち上がる。建設には21億円がかかる想定される。新ごみ処理施設建設のための基金を設けるべきと考えるが、見解を伺う。

答

従来の公共施設等総合管理基金に10億円の基金残高があります。新たに基金を創設する場合には基金の原資も必要となります。一定の基金を積み立てることができるかも踏まえ、検討していきます。

問

現在の積立は物価高騰も見込んで

答

概算建設費については、事業者が資材費等や人件費の高騰も見込んでいます。

学校給食無償化の今後の計画について



渡辺 まや

新国会



問

桶川市は学校給食無償化を目指しているのか。

答

国への要望などを行なっています。無償化で給食の質や内容は変わる

問

のか。

答

1食の食材費が変わらなければ、影響はありません。

問

市長に、今後の完全無償化の可能性と今後の計画を伺う。

答

第1段階として、令和7年度予算に第3子以降の無償化を計上しました。国の動向を注視しながら、完全無償化に向けて市としてもできることを進めます。

問

接種勧奨を控えた約8年間で、ワクチンは改良されたのか。

答

既に流通しているワクチン（2価・4価）の改良はありませんが、従来のワクチンと比較して予防効果の高い9価ワクチンが定期予防接種として使用開始されました。

問

桶川市で副反応の事例はあるか。

答

令和6年9月に医療機関からの報告で、9価ワクチンの初回接種の副反応が1件です。

問

全国的な副反応と重篤症例報告数を伺う。

答

令和6年9月30日までの副反応報告数1862例、重篤な症例の報告数は98例です。

問

本市の外国人は今後増加の見込みだが、全国的な問題である一部地域の治安の悪化など桶川市でも問題となる可能性はないのか。

答

その時の社会環境や社会情勢により変わりますので、お答えが非常に難しいです。

問

外国人が生活保護の対象となる理由。

答

外国人は法の適用対象とはならず、法による保護は受けられないが、厚労省社会局長通知により、法による保護等に準ずる取り扱いをすることとされています。

問

運営は法治国家の要請に反していないのか。

答

法的な面で議論がありますが、人道的観点から現状として見直す予定はありません。

桶川市に住む外国人1357人
国内の一部外国人による
犯罪や外国人の生活保護
に関して本市の状況は

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

持続的な市内の経済循環を生み出すための商業振興



榊 萌美

おけがわ未来



問 これまでの商工振興計画の取組を

伺う。

答 事業者の経営支援は、令和元年度から令和5年度までの実績として、累計で相談件数331件、創業件数105件。商店街空き店舗対策事業は、対象業種を拡大し、累計で20店舗の開業につながるなど様々な事業に取り組みました。

問 以前、出店希望者のための貸物件リストの作成を要望したが、その進捗状況を伺う。

答 提案いただいた他市の事例も含め研究しています。

問 現在、商品券配布事業は紙で配布を行なっているが、その課題を伺う。

答 大量の商品券の印刷、保管場所の確保、郵送する際の本人確認や不在者への対応、事業の周知、事業者への換金手続き、振込による売上代金の授受等に至るまで、手間や時間、費用を要すること等が課題です。

問 デジタルを活用した商品券事業の見解を伺う。

答 商品券のデジタル化には、利用者と事業者双方の対応機器などのインフラ整備が必要ですが、現状では全ての方に十分に整っているとは言えない状況です。

問 インフラが整備され、今後デジタル化される可能性はあるか。

答 利用者、事業者それぞれのインフラ環境が整えば、デジタル化する可能性は大いに

あると考えています。

より参加したくなる、20歳を祝う会にするために

問 実行委員への応募、転出者が参加を希望される際の連絡手段について伺う。

答 窓口か、電話やメールで連絡をいただいています。

問 気軽に応募できるように、ホームページに申込みフォームの設置を検討できないか。

答 作成は可能ですが、早期の実現に向けて検討します。

問 これまで参加者を対象としたアンケートは取っていないが、一生に一度の機会に参加した若者たちの声を反映していくことは重要である。アンケートを実施し、今後の運営に活かせないか。

答 アンケートを実施することは可能だと考えています。

駅東口開発推進事業について



江森 誠一

新公会



問 令和7年度予算額及び整備内容の詳細について伺う。

答 南小跡地接続道路については、市道4061号線の県道駅東口道り線から南小跡地に向かって約40mの区間を、12mに拡張するための用地測量委託で200万円、道路の詳細設計委託で700万円です。

問 次に、桶川駅東口駅前広場は、用地買収の土地鑑定委託で55万9千円、物件調査積算委託で50万円、公有財産購入費で4千600万円、物件等の補償料で300万円です。

次に、市道11号線は、桶川駅前交差点から国道17号に向かって約80mの区間について、電線共同溝整備工事を実施している箇所の道路改良工事です。

問 公共施設等整備事業について

日山谷地区コミュニティ拠点整備

に向けた令和7年度予算額及び事業内容を伺う。

答 予算額としては、令和7年度から令和8年度までの債務負担行為として、35,959千円を計上しています。

問 令和7年度は、公共施設の規模や機能の整理、民間施設との複合化に向け、進出意欲調査を更に掘り下げて実施し、市民サービスの向上や事業費の観点から整理を行います。

答 令和8年度に、事業者選定支援業務として、募集要項や事業契約書を作成の上、民間事業者の選定手続きを行います。

問 令和9年度以降に、設計や建設等、必要な手続きを経て、令和11年度の施設完成を見込んでいます。

答 地域の方々からの意見は、アンケート方式で行うのか伺う。時期は決まっていますが、機会を捉え地域の方々に対する説明会を行います。

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

小学校区を起点とした歩いて暮らせるまちづくりの推進について



にいつま 亮

立憲・国民・維新の会



問

歩いて暮らせるまちづくり推進の必要性と課題と効果について、市の見解を伺う。

答

生活機能を集約し、拠点間を公共交通でつなぐことで、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを目指しています。

課題と効果については、長期にわたる施策となることや、社会環境の変化への対応が課題です。

一方、生活圏域内で日常の機能を完結させることで、高齢者や子育て世代にとって安心な暮らしの実現が期待されます。

問

行政サービスの相談窓口の現状について伺う。

答

現在、行政サービスの相談窓口は市役所に集約しており、

一部オンライン相談にも対応しています。

問

小学校内に行政サービスの窓口等を設置することの可否について、市の見解を伺う。

答

関係法令や学校管理の観点から整理が必要であり、判断は難しい面もあります。ただし、他自治体で文化施設との複合事例などがあることは承知しています。

問

小学校区を行政の拠点単位とすることについて、市の見解を伺う。

答

小学校区は地域コミュニティの単位と認識していますが、現状では人員体制や施設整備の面から市役所集約を維持し、公共交通等で利便性を確保していきま

発達に課題のある子どもとその保護者への支援について

問

義務教育後の連携・相談体制について伺う。

答

相談支援センターや放課後等デイサービスの相談支援員が、進路や生活支援を継続的にを行い、行政や関係機関と連携しています。

問

成人後の対応について伺う。

答

医療や福祉サービスと連携し、生活・就労・手帳取得などについて、必要な支援を個別に行っています。

問

ライフステージごとの支援体制構築について、市の見解を伺う。

答

放課後等デイサービス、就労移行支援、定着支援などを通じて、児童期から成人まで切れ目のない支援体制を整えています。

学校給食の無償化について



岡野 千枝子

おけがわ未来



問

学校給食の無償化をすべての児童生徒を対象にすると、どのくらいの予算が必要なのか伺う。

答

桶川市は、一年間で約2億4,000万円の予算が必要となります。

問

第3子以降の給食費無償化の事業を実施するにあたり検討をした事を伺う。

答

第1子の年齢をどの年齢にするか比較検討を行いました。第1子の年齢を18歳までとした場合は、概算で年間約2,000万円の予算が必要となります。

問

子供が3人とも小学校・中学校に在籍していないと対象にならないと判断した判断基準を伺う。

答

学校給食費の負

問

南小跡地は、駅前の一等地だ。スビード感を持ってやらないと税収が上がらないが、どのように考えているのか伺う。

答

現在、道路整備や施設計画の策定を同時並行で進めています。

問

完全無償化にするための財源が厳しい。財源が厳しい要因を伺う。

答

社会保障経費の増加と物価高騰の影響による人件費の増加です。

問

厳しい財源の一面に、事業の見直しをしていない事と考えるが、これまでに事業の見直しをした点を伺う。

答

いま現在、必要ではない事業は、無いと認識しています。

南小跡地の利用・活用について

問

南小跡地のインフラ整備は、いつ頃終了する予定なのか伺う。

答

南小跡地にアクセスする所の用地取得に向けて補償等の事前段階にきています。これらが、今後の交渉を進めていくうえでの整備となります。

あと何年ぐらいという見込みは、様々な要件がありますが、まずは5、6年先を目指して進めています。

常任委員会の意見交換会について

市議会の常任委員会では、それぞれの所管事務に関する市内の団体と、意見交換会を実施しましたので、ご紹介します。

桶川市PTA連合会 建設文教常任委員会



これからのPTA活動の方向性について（1/20）

【主な意見】

- ・PTA活動の必要性を感じている保護者は多いが、役員、学校運営への協力の負担感が大きい。
- ・学校によっては、休会や市P連からの脱退を決めたPTAもある。
- ・PTA活動に新しい手法を取り入れるには、行政側の理解と協力が必要。
- ・本来、市が行うべきことを、PTAが行っているケースがある。必要な予算措置をすべき。

桶川市私立幼稚園協会 民生経済常任委員会



私立幼稚園の現状と課題について（1/23）

【主な意見】

- ・ごみ処分費用の補助をお願いしたい。
- ・保育士、幼稚園教諭に対するインフルエンザワクチン接種費用の補助をお願いしたい。
- ・こども誰でも通園制度については、市で説明会を開催してほしい。
- ・事務処理に手間がかかるため、簡素化してほしい。
- ・定期的にこのような話し合う機会を設けてほしい。

意見交換会の報告は、直近の定例会で、各常任委員会の委員長が行います。
委員長報告の様子は、右のQRコードからご覧いただけます。



桶川市議会の議会中継

市議会では、インターネットによる議会中継を行っています。

ライブ中継では、ご自宅のパソコンやスマートフォンから、議会での審議や常任委員会の様子がリアルタイムで、どこでもご覧いただけます。

また、本会議は開催日から1週間程度、各常任委員会は開催日から2週間程度で録画中継を行っています。

桶川市議会スマート中継

検索





表紙の写真を募集中!!



『おけがわ市議会だより』の表紙に市民の皆様からの写真を募集します。
応募規定など詳しくは、隣のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取って、ご確認ください。



定例会のお知らせ

6月定例会は6月5日(木曜日)午前9時30分開会で、会期日程は以下の予定で調整中です。

(※都合により変更する場合があります。)

〔会期日程(案)〕

5日	開 会 日
10日・11日・12日	常任委員会
13日・16日・17日・18日	一 般 質 問
20日	閉 会 日

1月(臨時)・3月議会本会議傍聴者 インターネット議会中継閲覧数

月日	1/24	2/19	20	3/3	11	12	13	17	18	21	25	合計
傍聴者(人)	0	3	0	1	3	3	22	6	0	1	0	39
閲覧数	126	615	746	776	457	439	640	347	285	555	231	5,091

声の市議会だより、 点字版市議会だより

桶川市議会では、ボランティアの皆さんのご協力により
声の市議会だより(紅花の会)
点字版市議会だより(点字レモンの会)を作成しています。
利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL 786-3211 (代表)
788-4963・4964 (直通)

編集後記

表紙を飾る道の駅「べに花の郷おけがわ」が開業して早1か月。開業による効果や影響が少しずつ見えてくると思います。市議会でも道の駅開業後の市内の動向や変化を注視してまいります。

ところで、市議会だよりの変化にはお気づきでしょうか。表紙のタイトルの部分が前号より変わりました。

議会だより編集委員会では、様々な試行錯誤をしながら、少しでも読みやすく、手に取っていただけるような広報誌づくりを心がけています。

(浦田 充)

議会だより編集委員会

委員長	にいつま亮
副委員長	浦田 充
委員	渡邊 広美
委員	渡邊 まや
委員	砂川 和也
委員	榊 萌美
委員	佐藤 洋
委員	渡邊 光子